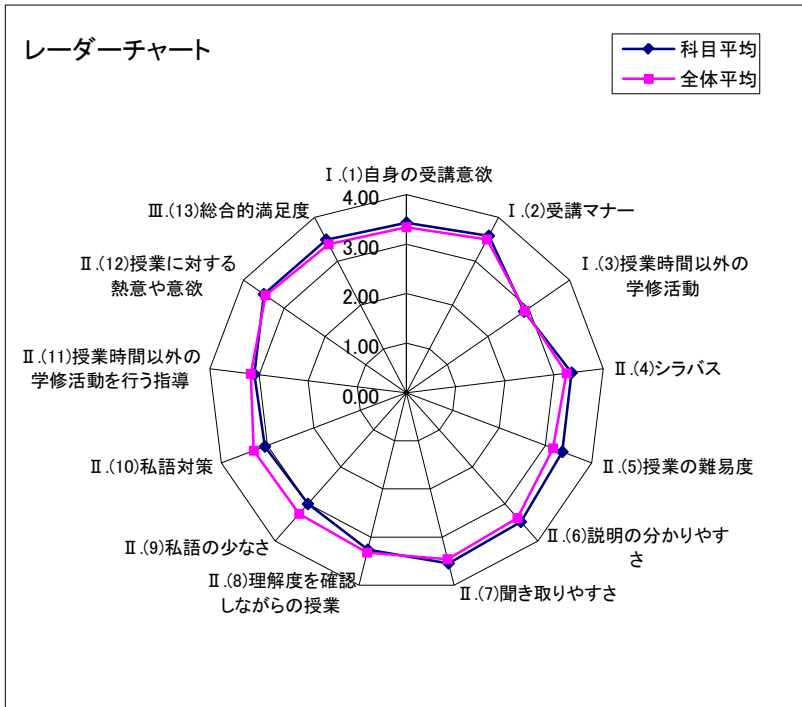
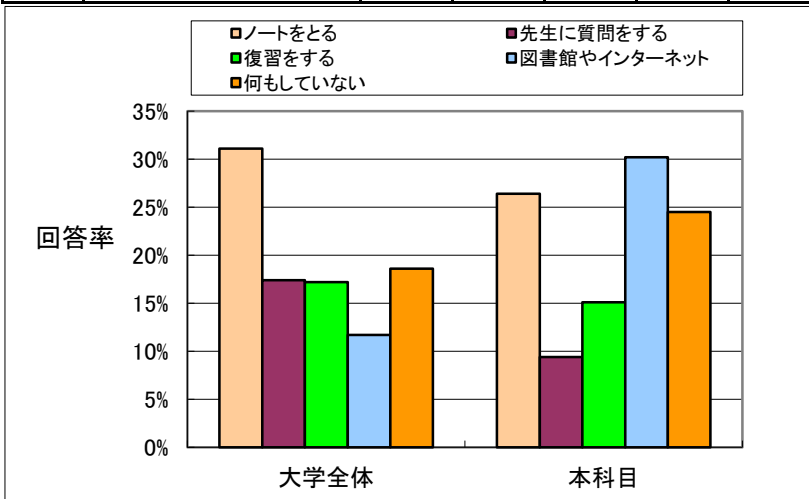


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	26.4	9.4	15.1	30.2	24.5



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.43	3.34
	I.(2)	3.58	3.49
	I.(3)	2.89	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.36	3.26
	II.(5)	3.37	3.16
	II.(6)	3.48	3.38
	II.(7)	3.55	3.46
	II.(8)	3.26	3.32
	II.(9)	3.00	3.27
	II.(10)	3.06	3.30
	II.(11)	3.09	3.17
	II.(12)	3.50	3.46
	総合評価	III.(13)	3.49

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.30	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.30	3.31
総合評価 III.(13)	3.49	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	2307
科目名	環境を考える/地球と環境
教員名	

①授業計画の達成度について
 本科目では、地球環境のもとで発生する様々な自然現象、特に地震や台風などの自然災害を取り上げ、そのメカニズムを解説した。基本的にシラバスに沿った授業展開を行ない、毎回の授業冒頭で15回全体の流れを確認した。また、授業時には配布資料に加え、映像やワークシートを取り入れることによって、授業内容への理解度向上を図った。本科目は設問4および5で平均的な評価を受けており、これらの点に関してはほぼ達成できたと考える。

②授業の進め方について
 日本語に不慣れな短期留学生も聴講していたことから授業中はマイクを使ってゆっくりと説明を行ない、重要な点は話を繰り返した。授業内容に関する作図や計算を行なうためのワークシートを活用し、適宜、机間巡視することで理解度の確認や授業内容を整理するための時間を用意したがなお十分とは言えない状況にある(設問8)。特に授業中の私語を抑えることができておらず、私語対策は本科目の重大な問題である(設問9, 10)。ただし、総合評価としての授業満足度は平均に達している(設問13)。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 授業に取り組む姿勢を引き出し、授業の理解度を向上させることについては、ワークシートによる作図や計算を導入し、能動的な作業を取り入れることによって、ある程度の改善が図られたと考える。しかし、授業中の私語が多い日もあり、私語対策が本科目における重要な課題と言える。授業冒頭で私語に対する全体的な注意を行なうとともに、適宜、机間巡視を通じた私語への注意、および授業中の発問によって、受講生の意識を授業に向けさせる必要がある。